

令和2年度

年報



AZUMINO CITY TOYOSHINA LOCAL MUSEUM

安曇野市豊科郷土博物館



目 次

I ようこそ安曇野市豊科郷土博物館へ 博物館の概要..... 3

- 1 開館からの略歴
- 2 当館の目指すところ
- 3 令和2年度・活動方針
- 4 施設の概要
- 5 令和2年度予算
- 6 入館者数と内訳

II 企画した展覧会及び関連事業 5

- 1 企画展・友の会展
- 2 講座・学習会
- 3 出前講座
- 4 博物館見学
- 5 昔の暮らし体験教室
- 6 友の会活動

III 写真でたどる年間活動 14

- 1 企画展
- 2 友の会展
- 3 こたつ講座
- 4 ワークショップ・講座
- 5 出前講座
- 6 博物館見学
- 7 昔の暮らし体験教室
- 8 友の会の活動
- 9 その他

IV 新市立博物館出前展示 19

V 学芸員実習の受け入れ 21

VI 調査研究・展覧会企画への取り組み 21

VII 所蔵している資料をできる限り活用しています 資料管理と活用体制 22

VIII 市内文化施設及び近隣博物館との 提携・協力 22

IX 当館に寄せられたみなさまのご意見 利活用者の意見からみる外部評価 23

- 1 アンケート回答者にみる入館者内訳
- 2 春季企画展春季企画展
「安曇野の外来動植物さんぽ～身近な自然から学ぶ～」
- 3 今後やってほしい展示

X 博物館のこれから 27

表紙写真：上：春季企画展「安曇野の外来動植物さんぽ」の展示説明

下：道祖神マップを作成し博物館に持ってきてくれた市内小学校の子どもたち

1 開館からの略歴

| | |
|----------|---|
| 昭和54年4月 | 多くの文化遺産の継承を使命とする生涯学習の場として豊科郷土博物館が開館しました。翌年、登録博物館になりました。 以来、収蔵している自然・歴史・民俗・芸術等の資料を収蔵展示するとともに、各種企画展示を開催してきました。友の会を核とした活動も活発に続いています。 |
| 平成17年10月 | 5町村の合併により安曇野市が誕生しました。当館は財団法人による指定管理のもと、市唯一の博物館としての活動を継続してきました。 |
| 平成24年4月 | 安曇野市の直営施設となり、市の主要文化施設として文化の発信と地域に根付いた活動を行い現在に至っています。平成25年度、屋根とトイレを改修し常設展示を替えて、平成26年3月のリニューアルオープンを経て、平成29年3月4年ぶりのリニューアルオープンをいたしました。 |
| 平成27年11月 | 安曇野市新市立博物館構想策定委員会で検討策定された新市立博物館構想が安曇野市長への提言として示されました。新規建設される市立博物館の基本的内容が明示され、それを受けた市は15～20年後の新博物館開設を発表しました。平成28年度、新市立博物館準備室も豊科郷土博物館内に設置されました。 |

2 当館の目指すところ

郷土安曇野の自然・歴史・民俗を対象に庶民の生活にかかわる資料の収集・収蔵・管理に努め、それらの資料の調査研究を行い、その研究成果を展示することを心がけています。展示は人々の心と生活の豊かさに寄与するとともに、新たなる文化創造に向けた土壌作りも目指しています。併せて、活動する博物館として生涯学習の場を提供し推進することも大切な目標とします。

自然と人々の営みが生み出した安曇野の文化を市民とともに「守り」「育て」「創る」という新市立博物館構想の基本理念に沿った活動を心がけます。

3 令和2年度・活動方針

安曇野市の基幹総合博物館として、新市立博物館構想の方向と連携を保ちながら、以下の方針で進めました。

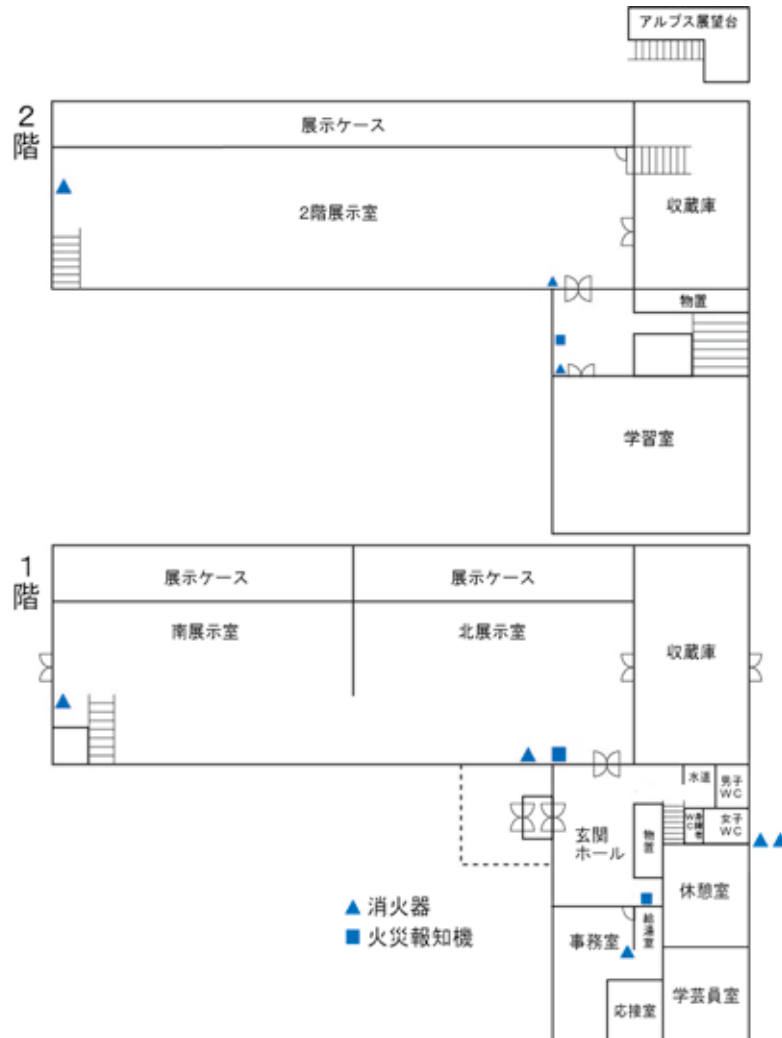
- ◆市民の教育と文化の向上と輝かしい未来を創造する力を培うため、新市立博物館建設準備室、市文書館、穂高郷土資料館、市文化財資料センター等の関係機関との連携をし、様々な活動を創意工夫しながら博物館の研究成果を広く市民に還元していくことが必要です。これらの取り組みの着実な推進によって、市民にとって魅力ある博物館になるよう努めます。
- ◆このような理念に基づいて博物館活動を行うため、貴重な資料の収集、その資料に基づく精緻な研究、その成果としての展覧会の開催、さらに市民に情報を提供する教育普及活動などの諸活動を行います。

4 施設の概要

■敷地面積 2,016㎡

■建物（鉄筋コンクリート造2階建）面積 747㎡（延床面積 1,020㎡）

■平面図



5 令和2年度予算

総額 約25,957千円

本年度は企画展解説パネル等製作費・研究紀要等刊行物印刷費・施設修繕費・機器リース料・電気代等光熱費・人件費等に使われています。

6 入館者数と内訳

入館利用者総数 6,884人（令和元年度数 10,045人 対前年度比率 68.5%）

有料入館者数 1,465人（令和元年度数 1,719人 対前年度比率 85.2%）

児童生徒入館者数 1,049人（令和元年度数 2,688人 対前年度比率 39.0%）

II 企画した展覧会及び関連事業

1 企画展・友の会展

(1) 企画展

| No. | 展覧会名 | 開催期間 日数 | 場所 | 入館者数 |
|-----|--|----------------------------|-------|-------|
| | 博物館創立40周年春季特別企画展 「旅と土産物～安曇野から何を求めて旅に出たのか 人々は何を求めてやってきたのか～」(平成31年2月15日～4月5日) (倉石あつ子・原 明芳) | 4月1日(水)～ 4月5日(日) 5日間 | 企画展示室 | 52 |
| 1 | 第36回白鳥写真展 | 5月16日(土)～ 6月28日(日) 36日間 | 企画展示室 | 444 |
| 2 | 秋季企画展 「描かれた満願寺とその自然 ～「死出ノ山」とは何か～」(原 明芳・松田貴子) | 9月5日(土)～ 11月8日(日) 55日間 | 企画展示室 | 1,154 |
| 3 | 第37回白鳥写真展 | 2月6日(土)～ 3月7日(日) 25日間 | 企画展示室 | 670 |
| 4 | 安曇野市制施行15周年記念春季企画展 「安曇野の外来動植物さんぽ ～身近な自然から学ぶ～」 (松田貴子) | 3月20日(土)～ 3月31日(水) 10日間 | 企画展示室 | 163 |

入館者合計 2,483

(2) 友の会展 (山草・サクラソウ展は中止)

| No. | 講座名 | 開催期間 日数 | 場所 | 参加者 |
|-----|-----------------------|------------------------------|-------|-----|
| 1 | 第34回写真展・第15回ボタニカルアート展 | 7月4日(土)～ 7月26日(日) 20日間 | 企画展示室 | 357 |
| 2 | 第17回絵手紙展・第4回戦時生活展 | 11月14日(土)～ 11月24日(日) 14日間 | 企画展示室 | 335 |
| 3 | 第66回書芸展・第2回着物リメイク展 | 1月16日(土)～ 1月31日(日) 17日間 | 企画展示室 | 927 |

参加者合計 1,619

2 講座・学習会

(1) 企画展関連講演会・講座（博物館学習室を定員 50 名⇒ 20 名に入場制限）

| No. | 講座名 | 開講日 | 講師 | 場所 | 参加者 |
|-----|------------------------------------|-----------|----------------------|--------|-----|
| 1 | 「描かれた満願寺からみえるもの」 (秋季企画展講座) | 9月6日(日) | 原 明芳 (豊科郷土博物館館長) | 博物館学習室 | 35 |
| 2 | 「満願寺が創建された時代の安曇野」 (秋季企画展講座) | 9月19日(土) | 原 明芳 (豊科郷土博物館館長) | 博物館学習室 | 39 |
| 3 | 「満願寺の自然」 (秋季企画展現地説明会) | 9月27日(日) | 松田 貴子 (豊科郷土博物館職員) | 満願寺周辺 | 16 |
| 4 | 「栗尾道から死出ノ山、そして満願寺」 (秋季企画展現地見学会) | 10月17日(土) | 原 明芳 (豊科郷土博物館館長) | 満願寺周辺 | 18 |
| 5 | 「外来植物を楽しむスワッグづくり」 (春季企画展講座) | 3月27日(土) | 伊沢 和子 (ドライフラワー作家) | 博物館学習室 | 14 |

参加者合計 122

(2) 主催講座・イベント

①こたつ講座

| No. | 講座タイトル | 開講日 | 講師 | 場所 | 参加者 |
|-----|-------------------------------------|-----------|----------------------|--------|-----|
| 1 | 「アメリカ・ヨセミテ国立公園の自然と博物館の旅」 | 12月19日(土) | 松田 貴子 (豊科郷土博物館職員) | 博物館学習室 | 20 |
| 2 | 「安曇野の今を読む ―観光の民俗学的な視点から―」 | 1月16日(土) | 倉石あつ子 (豊科郷土博物館職員) | 博物館学習室 | 16 |
| 3 | 「最近気になる生きものたち」 | 1月30日(土) | 那須野雅好 (文書館職員) | 博物館学習室 | 17 |
| 4 | 「産む？ 産まない？ 彼女たちの選択」 | 2月6日(土) | 宮本 尚子 (豊科郷土博物館職員) | 博物館学習室 | 10 |
| 5 | 「古代から中世で安曇郡はどう変わるか ―現在につながる安曇野の登場―」 | 2月20日(土) | 原 明芳 (豊科郷土博物館館長) | 博物館学習室 | 18 |

| | | | | | |
|---|------------|---------|----------------------|--------|----|
| 6 | 「沼津侍従と満願寺」 | 3月6日(土) | 逸見 大悟 (安曇野市教育委員会) | 博物館学習室 | 19 |
|---|------------|---------|----------------------|--------|----|

参加者合計 100

②ワークショップ

| No. | 講座タイトル | 開講日 | 講師 | 場所 | 参加者 |
|-----|-------------------|-----------|---|--------------|--------------|
| 1 | 博物館講座 大麦の虫かご作り | 10月24日(土) | 矢口健陽児 (元穂高郷土資料館職員) 宮本 尚子, 小椋 緑 (豊科郷土博物館職員) | 鐘の鳴る丘 集会所 | 大人 8 小人 1 |

参加者合計 9

3 出前講座

(1) 学校関連

| No. | 講座タイトル | 開講日 | 講師 | 場所・参加校 | 参加者 |
|-----|--|----------|--|---------|-----------------|
| 1 | ちくに生きものみらい基金による自然観察会 堀金小学校4年生 | 7月14日(火) | 小椋 緑 (豊科郷土博物館職員) 那須野雅好, 齊藤 雄太 (安曇野市教育委員会) | 田淵行男記念館 | 大人 5 小人 76 |
| 2 | 穂高の文化 穂高のオフネ祭りについて 穂高東中学校 | 7月29日(水) | 宮本 尚子 (豊科郷土博物館職員) | 穂高東中学校 | 大人 1 小人 6 |
| 3 | 総合学習 地域を学ぶ「豊科地域の自然、産業、歴史民俗」 豊科北中学校1年生 | 8月25日(火) | 倉石あつ子, 松田 貴子 (豊科郷土博物館職員) | 豊科北中学校 | 大人 10 小人 117 |
| 4 | 総合学習 地域を学ぶ「豊科地域の歴史」 豊科北中学校1年生 | 8月27日(木) | 原 明芳 (豊科郷土博物館館長) | 豊科北中学校 | 大人 4 小人 117 |
| 5 | 総合学習 地域を学ぶ 歴史民俗 豊科北中学校1年生 | 9月9日(水) | 原 明芳 (豊科郷土博物館館長) 倉石あつ子, 宮本 尚子 (豊科郷土博物館職員) | 豊科各地 | 大人 2 小人 27 |

| No. | 講座タイトル | 開講日 | 講師 | 場所・参加校 | 参加者 |
|-----|--|-----------|---|---------|--------------|
| 6 | 総合学習 地域を学ぶ 自然 豊科北中学校1年生 | 9月9日(水) | 松田 貴子, 小椋 緑, 二木 典子 (豊科郷土博物館職員) | 豊科各地 | 大人3 小人28 |
| 7 | 総合学習 地域を学ぶ豊科 北中学校1年生 | 10月15日(木) | 原 明芳 (豊科郷土博物館館長) 松田 貴子, 宮本 尚子 (豊科郷土博物館職員) | 現地 | 大人5 小人53 |
| 8 | 地域探検クラブ 穂高西小学校5・6年生 | 10月19日(月) | 松田 貴子 (豊科郷土博物館職員) | 穂高西小学校 | 大人1 小人9 |
| 9 | ちくりに生きものみらい基金に よる自然観察会「安曇野探検」 堀金小学校3年生 | 10月21日(水) | 松田 貴子, 小椋 緑 (豊科郷土博物館職員) | 長峰山 | 大人2 小人36 |
| 10 | 自然観察会 波田中央保育園 | 10月22日(木) | 小椋 緑 (豊科郷土博物館職員) | 波田中央保育園 | 大人26 小人21 |
| 11 | 総合学習 地域を学ぶ 豊科北中学校1年生 | 10月22日(木) | 原 明芳 (豊科郷土博物館館長), 松田 貴子 (豊科郷土博物館職員) | 現地 | 大人2 小人7 |
| 12 | 総合学習 地域を学ぶ 豊科北中学校1年生 | 10月27日(火) | 松田 貴子 (豊科郷土博物館職員) | 現地 | 小人5 |
| 13 | 地域探検クラブ 穂高西小学校5・6年生 | 11月4日(水) | 宮本 尚子 (豊科郷土博物館職員) | 穂高西小学校 | 大人1 小人9 |
| 14 | 総合学習 地域を学ぶ 豊科北中学校1年生 | 11月5日(木) | 原 明芳 (豊科郷土博物館館長), 倉石あつ子, 松田 貴子 (豊科郷土博物館職員) | 現地 | 大人3 小人16 |
| 15 | 総合学習 地域を学ぶ 豊科北中学校1年生 | 11月12日(木) | 原 明芳 (豊科郷土博物館館長), 宮本 尚子, 小椋 緑 (豊科郷土博物館職員) | 現地 | 大人3 小人17 |
| 16 | 総合学習 地域を学ぶ 豊科北中学校1年生 | 11月16日(月) | 小椋 緑 (豊科郷土博物館職員) | 現地 | 大人1 小人3 |

| | | | | | |
|----|---|-----------|---|---------|--------------|
| 17 | 博物館学リモート講座 博物館経営学 信州大学人文学部 | 11月16日(月) | 原 明芳 (豊科郷土博物館館長) | | 大人70 |
| 18 | 自然観察会 波田中央保育園 | 11月25日(水) | 小椋 緑 (豊科郷土博物館職員) | 波田中央保育園 | 小人 8 |
| 19 | 総合学習 地域を学ぶ 豊科北中学校1年生 | 11月26日(木) | 小椋 緑 (豊科郷土博物館職員) | 現地 | 大人 1 小人 8 |
| 20 | ちくに生きものみらい基金による自然観察会サワガニ・カワナレスキュー隊 穂高南小学校2年生 | 11月27日(金) | 松田 貴子, 小椋 緑 (豊科郷土博物館職員) | 現地 | 大人 4 小人90 |
| 21 | 総合学習 地域を学ぶ 豊科北中学校1年生 | 11月27日(金) | 松田 貴子, 小椋 緑 (豊科郷土博物館職員) | 現地 | 小人14 |
| 22 | 講座 信州学 安曇野・松本の気候・風土と食文化 豊科高校 | 12月11日(金) | 倉石あつ子 (豊科郷土博物館職員) | 豊科高校 | 大人32 |
| 23 | 総合学習 地域を学ぶ 豊科北中学校1年生 | 12月18日(金) | 原 明芳 (豊科郷土博物館館長) | 豊科北中学校 | 小人 6 |
| 24 | 総合学習 地域を学ぶ 豊科北中学校1年生 | 12月18日(金) | 小椋 緑 (豊科郷土博物館職員) | 現地 | 大人 1 小人 3 |
| 25 | 総合学習 地域を学ぶ 豊科北中学校1年生 | 1月14日(木) | 松田 貴子, 小椋 緑 (豊科郷土博物館職員) | 豊科北中学校 | 大人 3 小人20 |
| 26 | 総合学習 地域を学ぶ発表会 豊科北中学校1年生 | 2月25日(木) | 原 明芳 (豊科郷土博物館館長) 松田 貴子, 小椋 緑 (豊科郷土博物館職員) | 豊科北中学校 | 大人 3 小人47 |

参加者合計 926

(2) 一般向け

| No. | 講座タイトル | 開講日 | 講師 | 開催場所 | 参加者 |
|-----|-------------------------------------|----------|---------------------|---------------|------|
| 1 | 安曇野歴史サロン(安曇誕生の系譜を探る会) 弥生時代へのいざない | 7月18日(土) | 原 明芳 (豊科郷土博物館館長) | 豊科学習交流センターきぼう | 大人74 |

| No. | 講座タイトル | 開講日 | 講師 | 開催場所 | 参加者 |
|-----|---|-----------|--|-----------------|--------------|
| 2 | 自然観察会 黒沢洞合自然公園で里山の昆虫について学ぶ | 8月1日(土) | 那須野雅好 (文書館職員), 松田 貴子 (豊科郷土博物館職員) | 黒沢洞合 自然公園 | 大人30 小人28 |
| 3 | 三郷公民館 ふるさと講座3 | 9月15日(火) | 松田 貴子 (豊科郷土博物館職員) | 戸隠森林植物園 周辺 | 大人17 |
| 4 | 安曇野アカデミー フィールドワーク | 9月26日(土) | 那須野雅好 (文書館職員), 財津 達弥 (安曇野市教育委員会), 松田貴子 (豊科郷土博物館職員) | 田淵行男記念館 周辺 | 大人18 |
| 5 | 里山トレッキング講座(穂高公民館) 浅川山～冷沢～信濃坂トレッキングと自然観察会 | 9月29日(火) | 松田 貴子 (豊科郷土博物館職員) | 浅川山 | 大人13 |
| 6 | 安曇野アカデミー フィールドワーク | 9月30日(土) | 那須野雅好 (文書館職員), 財津 達弥 (安曇野市教育委員会), 松田 貴子 (豊科郷土博物館職員) | 田淵行男記念館 周辺 | 大人19 |
| 7 | 地域連携講座 松本平への 陸軍航空部隊・機関の展開 | 10月3日(土) | 原 明芳 (豊科郷土博物館館長) | 塩尻市立図書館 | 大人10 |
| 8 | 松本山田地区観察会 | 10月15日(木) | 松田 貴子 (豊科郷土博物館職員) | 松本市山田地区 | 大人 6 |
| 9 | ふるさと堀金を楽しむ会 「堀金の西山に寺がいくつも あったのはなぜか？」 | 10月19日(月) | 原 明芳 (豊科郷土博物館館長) | 堀金公民館 | 大人72 |
| 10 | 安曇野アカデミー 「秋の七草の植生を探る ～ 長峰山 満願寺～」 | 10月22日(木) | 松田 貴子 (豊科郷土博物館職員) | 豊科交流セン ターきぼう | 大人31 |
| 11 | 明科公民館講座 明科の宝 part 3 民俗から見た明科 | 11月18日(水) | 倉石あつ子 (豊科郷土博物館職員) | 明科公民館 | 大人35 |

| | | | | | |
|----|---|-----------|----------------------|--------------|------|
| 12 | 安曇野歴史サロン（安曇誕生の系譜を探る会）古墳時代へのいざない | 11月21日（土） | 原 明芳 （豊科郷土博物館館長） | 明科公民館 | 大人64 |
| 13 | 安曇野歴史サロン（安曇誕生の系譜を探る会）奈良・平安時代へのいざない | 1月23日（土） | 原 明芳 （豊科郷土博物館館長） | 明科公民館 | 大人51 |
| 14 | 国営アルプスあづみの公園歳時記イベント 三九郎と繭玉焼き体験 | 2月7日（日） | 宮本 尚子 （豊科郷土博物館職員） | 国営アルプスあづみの公園 | 大人65 |
| 15 | 安曇野歴史サロン（安曇誕生の系譜を探る会）信州の特色ある縄文時代～縄文の大地からのメッセージ～ | 3月20日（土） | 原 明芳 （豊科郷土博物館館長） | 明科公民館 | 大人75 |

参加者合計 608

4 博物館見学

（1）学校関連

| No. | 講座名 | 開講日 | 講師 | 開催場所 | 参加者 |
|-----|---------------|-----------|--|---------|-------------|
| 1 | 穂高西小学校地域探検クラブ | 8月10日（月） | 宮本 尚子 （豊科郷土博物館職員） | 豊科郷土博物館 | 大人2 小人12 |
| 2 | 豊科北小学校総合学習 | 9月1日（火） | 宮本 尚子 （豊科郷土博物館職員） | 豊科郷土博物館 | 大人2 小人30 |
| 3 | 豊科東小学校4年生 | 9月30日（水） | 原 明芳 （豊科郷土博物館館長）， 宮本 尚子 （豊科郷土博物館職員） | 豊科郷土博物館 | 大人2 小人25 |
| 4 | 豊科南小学校社会科クラブ | 10月28日（水） | 原 明芳 （豊科郷土博物館館長）， 倉石あつ子 （豊科郷土博物館職員） | 豊科郷土博物館 | 大人1 小人22 |
| 5 | 豊科北小学校3年2組 | 11月5日（木） | 宮本 尚子 （豊科郷土博物館職員） | 豊科郷土博物館 | 大人1 小人30 |

| No. | 講座名 | 開講日 | 講師 | 開催場所 | 参加者 |
|-----|------------|----------|---|---------|-------------|
| 6 | 穂高西小学校4年2組 | 3月27日(土) | 原 明芳 (豊科郷土博物館館長) 松田 貴子 (豊科郷土博物館職員) | 豊科郷土博物館 | 大人2 小人10 |

参加者合計 139

(2) 一般向け

| No. | 講座名 | 開講日 | 講師 | 開催場所 | 参加者 |
|-----|-----------|----------|---|---------|------|
| 1 | 中信地区高校校長会 | 7月2日(木) | 原 明芳 (豊科郷土博物館館長) | 豊科郷土博物館 | 大人14 |
| 2 | 長野県民俗の会 | 9月12日(土) | 原 明芳 (豊科郷土博物館館長) 松田 貴子 (豊科郷土博物館職員) | 豊科郷土博物館 | 大人15 |

参加者合計 29

5 昔の暮らし体験教室

| No. | 学校名 | 開催日 | 講師 | 参加者 |
|-----|------------------------|-----------|---|-------------|
| 1 | 昔の暮らし体験教室 豊科東小学校3年生 | 12月11日(金) | 矢口健陽児, 勝野 辰雄, 小穴金三郎, 宮澤紀美子, 豊科郷土博物館職員3名 | 大人1 小人25 |

参加者合計 26

6 友の会活動

| No. | 友の会名・講座名 | 会員数 | 活動回数 | 参加のべ人数 | 活動場所 | 企画展 |
|-----|----------|-----|------|--------|----------------|-----|
| 1 | 絵手紙部 | 26 | 21 | 344 | 博物館21回 | 1 |
| 2 | 着物リメイク部 | 11 | 18 | 161 | 博物館21回 | 1 |
| 3 | 郷土史部 | 29 | 11 | 89 | 博物館9回 現地 2回 | |
| 4 | 山草部 | 14 | 2 | 13 | 博物館2回 | |

| | | | | | | | |
|----|------------|---------|----|-----|--------------------------|---|--|
| 5 | 自然と暮らしの文化部 | 28 | 20 | 209 | 博物館7回 鐘の鳴る丘集会所 13回 | | |
| 6 | 写真部 | 6 | | | | 1 | |
| 7 | 植物画 | 19 | 20 | 272 | 博物館20回 | 1 | |
| 8 | 植物調査部 | 16 | 23 | 158 | 博物館14回 現地 9回 | | |
| 9 | 書道部 | 18 | 48 | | 公民館48回 | 1 | |
| 10 | 戦時生活部 | 12 | 12 | 101 | 博物館12回 | 1 | |
| 11 | タカラさがし部 | 活 動 休 止 | | | | | |

参加者合計 1,347

- ※1 戦時生活部は、8月12日（水）から16日（日）まで穂高交流学習センターみらいで「2020 安曇野にも戦争があった in 穂高」を開催、期間中の15日（土）に「穂高・有明空襲体験者の話を聞く会」を企画
- ※2 研修旅行・博物館清掃（例年3回）は中止

Ⅲ 写真でたどる年間活動

1 企画展

①第36回・第37回白鳥写真展

◆展示風景



②秋季企画展「描かれた満願寺とその自然 ～「死出ノ山」とは何か～」

◆展示風景



◆企画展講座



◆企画展現地説明会（自然）



◆企画展現地見学会（歴史）



③安曇野市制施行15周年記念春季企画展

「安曇野の外来動植物さんぽ ～身近な自然から学ぶ～」

◆展示風景



◆企画展特別講演会 増田由香子氏 「自然への扉を開き、つながりを深める ～インタープリテーションの役割～」



◆企画展講座「外来植物を楽しむスワッグづくり」 伊沢和子氏



◆企画展観察会（野鳥）



◆企画展観察会（昆虫）



2 友の会展

◆第15回ボタニカルアート展（植物画部）



◆第34回写真展（写真部）



◆第17回絵手紙展（絵手紙部）



◆第4回戦時生活展（戦時生活部）



◆第66回新春書芸展（書道部）



◆第2回着物リメイク展（着物リメイク部）



3 こたつ講座

◆松田貴子「アメリカ・ヨセミテ国立の自然と博物館の旅」



◆那須野雅好「最近気になる生きものたち」



4 ワークショップ・講座

◆大麦の虫かご作り



5 出前講座

◆中学校地域学習支援



◆ちくに生きものみらい基金による小学生の水生生物レスキュー活動



6 博物館見学

◆市内小学校見学



◆市内中学校見学



7 昔の暮らし体験教室



8 友の会の活動（友の会展発表以外の部）

◆郷土史部による地域巡検



◆植物調査部による標本作製や標本データ入力



◆自然と暮らしの文化部によるキハダ染めやロケットストーブ作り



9 その他

◆博物館の窓辺の緑のカーテン



◆収蔵資料の燻蒸



IV 新市立博物館出前展示

博物館では新市立博物館準備室が中心となって、平成28年度からテーマをコンパクトにまとめた出前展示を行っています。令和2年度は以下のようなテーマで展示を行いました。

| 開催日 | テーマ |
|--|--|
| 安曇野の春の訪れ | <ul style="list-style-type: none"> ・会期：3月5日（木）～5月15日（金） ・日数：38日（4月1日～） ・会場：三郷交流学習センター |
| 貞享義烈碑建立の歩み | <ul style="list-style-type: none"> ・会期：3月24日（火）～4月10日（金） ・日数：9日（4月1日～） ・会場：貞享義民記念館 |
| 白井吉見 その人その言葉 | <ul style="list-style-type: none"> ・会期：4月1日（水）～4月30日（木） ・日数：30日 ・会場：堀金支所市民活動室 |
| リンゴ村への道 | <ul style="list-style-type: none"> ・会期：5月16日（土）～6月15日（月） ・日数：31日 ・会場：三郷公民館 |
| 来た道～忘れられた感染症、銃後の守り～ | <ul style="list-style-type: none"> ・会期：5月17日（日）～8月31日（月） ・日数：89日 ・会場：文書館 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・安曇野の特産物 ・家蚕と天蚕 | <ul style="list-style-type: none"> ・会期：5月16日（土）～6月30日（火） ・日数：39日 ・会場：三郷交流学習センター |
| 疫病退散 見えないものを追い払う! | <ul style="list-style-type: none"> ・会期：6月4日（木）～7月17日（金） ・日数：32日 ・会場：本庁舎1階中央 |

| 開催日 | テーマ |
|--|--|
| いきものの決定的瞬間 | <ul style="list-style-type: none"> ・会期：7月1日（水）～8月30日（日） ・日数：53日 ・会場：三郷交流学習センター |
| <ul style="list-style-type: none"> ・七夕—そのロマンと現実 ・家蚕と天蚕 | <ul style="list-style-type: none"> ・会期：7月22日（水）～8月27日（木） ・日数：37日 ・会場：ほりで一ゆ～四季の郷 |
| 疫病退散 見えないものを追い払う! | <ul style="list-style-type: none"> ・会期：8月18日（火）～9月13日（日） ・日数：24日 ・会場：貞享義民記念館 |
| リンゴ村への道 | <ul style="list-style-type: none"> ・会期：8月24日（月）～9月25日（金） ・日数：23日 ・会場：本庁舎1階西側 |
| 秋の七草～千年の時を超えて～ | <ul style="list-style-type: none"> ・会期：8月28日（金）～9月30日（水） ・日数：34日 ・会場：ほりで一ゆ～四季の郷 |
| 五つの心をひとつに | <ul style="list-style-type: none"> ・会期：9月6日（日）～12月28日（月） ・日数：94日 ・会場：文書館 |
| じょうきょうそうどうを知っていますか | <ul style="list-style-type: none"> ・会期：10月5日（月）～11月20日（金） ・日数：47日 ・会場：ほりで一ゆ～四季の郷 |
| あづみの？ あずみの？ 安曇野 ～安曇野市の変遷を探る～ | <ul style="list-style-type: none"> ・会期：10月12日（月）～11月16日（月） ・日数：36日 ・会場：堀金支所市民活動室 |
| 白井吉見 その人その言葉 | <ul style="list-style-type: none"> ・会期：11月20日（金）～2月26日（金） ・日数：99日 ・会場：ほりで一ゆ～四季の郷 |
| 秋の七草～千年の時を超えて～（3回） （12月17日～1月10日のみ「昆虫のひみつ」をあわせて展示） | <ul style="list-style-type: none"> ・会期・日数（日数計：42日）・会場 12月1日（火）～12月15日（火）・13日・三郷交流学習センター 12月17日（水）～1月10日（日）・16日・穂高交流学習センター 1月12日（火）～1月24日（日）・13日・本庁舎1階東側 （環境課「あづみ野に生きるものたち・環境ネットワーク展」の一環として） |
| 『鐘の鳴る丘』と 主題歌『とんがり帽子』 | <ul style="list-style-type: none"> ・会期：1月4日（月）～2月1日（月） ・日数：21日 ・会場：本庁舎1階中央 |

| | |
|-------------------------|---|
| 安曇野の春の訪れⅡ～桜の世界 | <ul style="list-style-type: none"> ・会期：2月26日（金）～4月30日（金） ・日数：（3月31日まで）34日 ・会場：ほりで一ゆ～四季の郷 |
| 『鐘の鳴る丘』と 主題歌『とんがり帽子』 | <ul style="list-style-type: none"> ・会期：3月30日（火）～5月7日（金） ・日数：（3月31日まで）2日 ・会場：本庁舎1階中央 |

V 学芸員実習の受け入れ

本年度の当館での学芸員実習の受け入れは3名でした。

民俗資料の整理では、受け入れ予定の民俗資料の洗浄・記録作業を行ったり、自然環境の調査や標本作りを通して、実物資料の扱い方を学んだりしました。また、企画展の現地見学会や中学校への出前授業の補助を行い、教育普及事業の実際を体験できる研修を実施しました。実習のまとめとしては、博物館が提示したテーマ「これからの博物館活動」について発表しました。地域博物館の活動事例や、抱えている課題や可能性などについて、各自の調査や実習で得た体験に基づいて考察し、発表することができました。



VI 調査研究・広報活動への取り組み

当博物館では、安曇野市内の自然や歴史、文化の価値をさらに深め、また新たな価値を見出していくために、調査研究を進めています。これらの成果は、博物館紀要や企画展を通じて広く安曇野市内外の皆様にお伝えしています。令和2年度の紀要第8号では、5つの研究が報告されました。このような調査研究活動は、展示・講座などの博物館活動を支え、市民の学習・研究活動の支援につながっています。

この調査研究をもとに明科・長峰山の山頂草原について生物多様性保全を目的として、毎年6月下旬の草刈りを関係団体（行政、地元住民、市民団体等）とともに実施しています。

また館内外の活動を広く市民の方々に周知するために、企画展示が行われたり、講演会が行われたり



するたびに、新聞・放送関係をはじめとする広報活動を行ってきました。

ホームページでのお知らせ、市の広報誌等を利用した広報活動も頻繁に行っております。また、平成 29 年度から始めた出前展示を今年度も行い、公民館・学校等の要請を受け、本年度も出前展示を貸し出して多くの方々に見ていただきました。



Ⅶ 所蔵している資料をできる限り活用しています

資料管理と活用体制

●収蔵資料数と主な内容

令和 3 年 4 月 1 日現在の収蔵品数と主な収蔵品名は以下のとおりです。

| | | |
|--------|----------|--|
| ■歴史資料 | 約12,000点 | 豊科町関係旧村文書・藤森桂谷文庫・小穴亀一文庫・旧吉野小学校教科書・南穂高村消防組資料・豊科町誌関係資料 |
| ■民俗資料 | 約1,900点 | 農耕・養蚕・漁労関係資料・衣食住関係資料 |
| ■美術資料 | 約100点 | 小林章・藤森桂谷・井口香山・小川大系 |
| ■自然資料 | 約6,700点 | 動物剥製・昆虫標本・化石標本 |
| ■蔵書その他 | 約5,600点 | |

収蔵品総点数 約26,300点

Ⅷ 市内文化施設及び近隣博物館との提携・協力

令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言を受けて臨時休館したため、展覧会スケジュールの変更を余儀なくされました。同様に、市外及び県外への行動も制限されたことから、資料の借用等も再考せざるを得ませんでした。

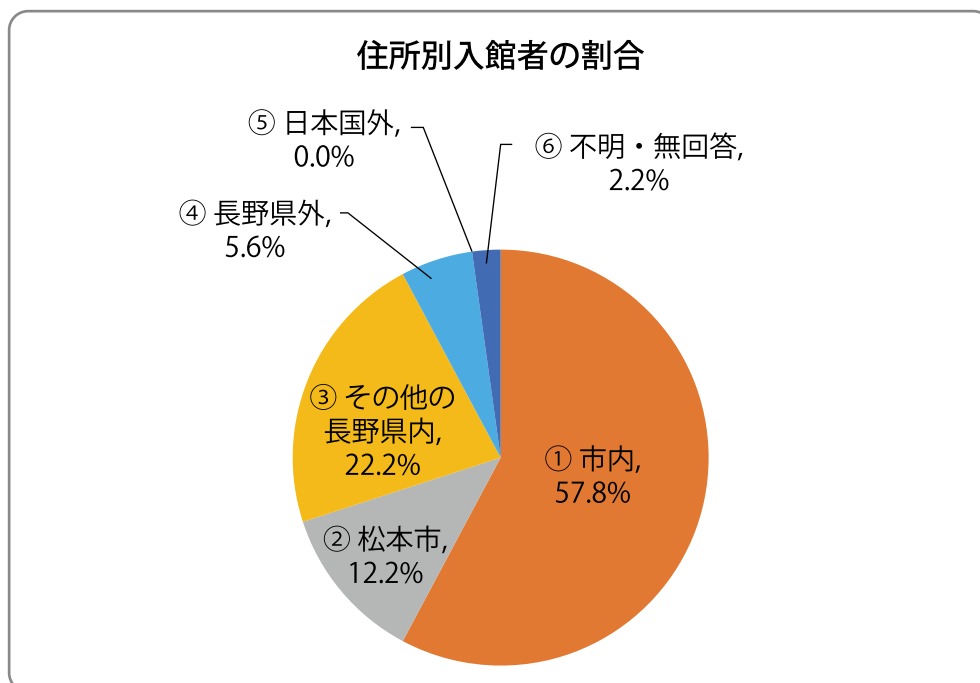
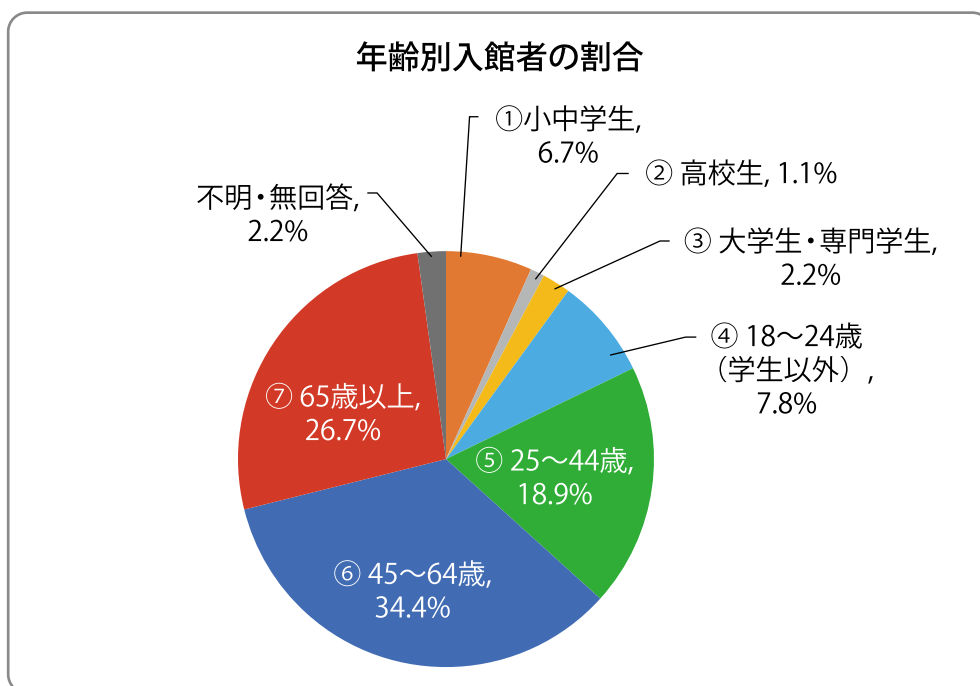
夏季企画展を振り替えた秋季企画展「満願寺展 I 描かれた満願寺とその自然―「死出ノ山」とは何か―」では、穂高郷土資料館収蔵の他谷遺跡出土資料（縄文土器 2 点・龍泉窯青磁碗 1 点・東海系捏鉢 1 点）を展示しました。同展では、長野県立歴史館から、「穂高組絵図」「安曇郡社寺境内取調絵図」を借用・展示しました。

春季企画展「安曇野外来動植物さんぽ～身近な自然から学ぶ～」では、長野県烏川溪谷緑地よりハクビシンのほく製を借用・展示しました。

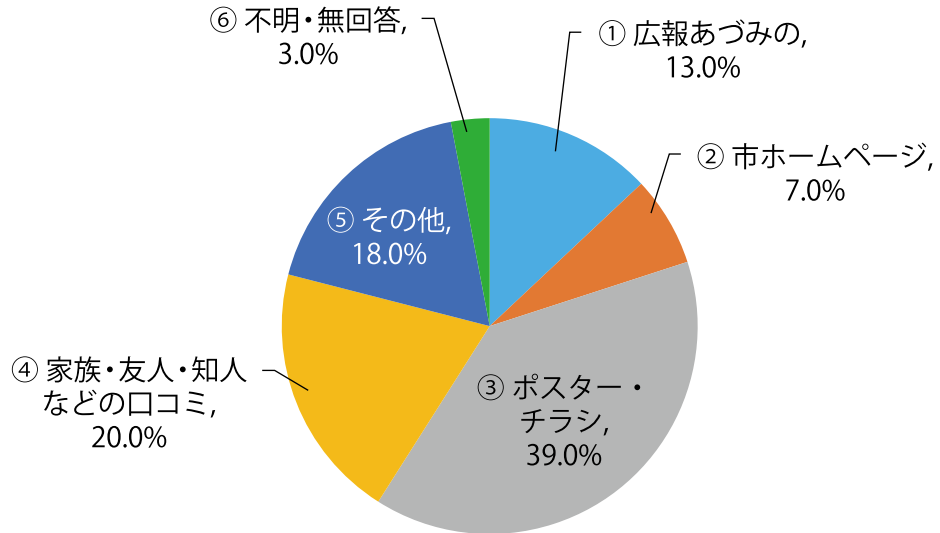
また、7月の九州豪雨で浸水被害を受けた熊本県人吉市の人吉城歴史館からの呼びかけを受け、所蔵していた約 33000 点の植物標本の一部を修復する作業を 8 月に行いました。キク科やモチノキ科の標本など 71 点で、被災地博物館のレスキュー活動に貢献することができました。



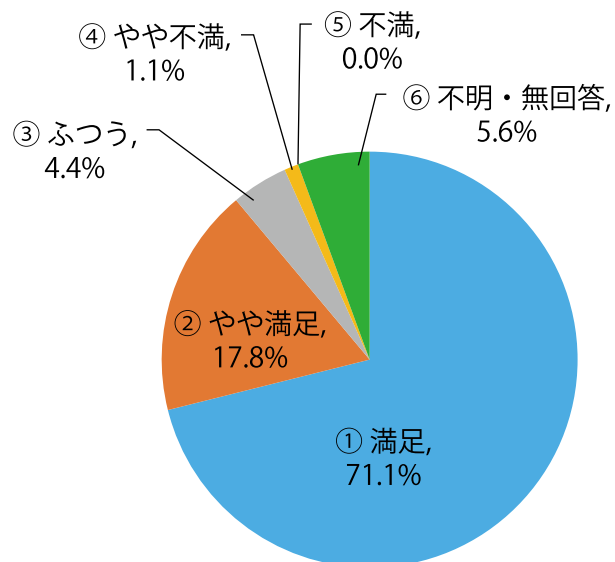
1 アンケート回答者に見る入館者内訳（春季）



企画展を何で知ったか



観覧者の満足度



2 春季企画展「安曇野の外来動植物さんぽ ～身近な自然から学ぶ」

◆感想については以下のとおりです。

- 写真、標本がすばらしい。外来動植物の実体がよくわかった。外来植物の渡来が人や物と共に早くからあったことが分かる。意図的に外来動植物を採集したことに考えさせられた。
- 軍手にくっついた展示が、とてもリアルで植物のたくましが実感できました。
- 安曇野市内でも外来種が見られることは知っていたが、詳しい種やその割合などは分からないことが多かったので、この企画展でそれが知れて良かった。特にイネ科はたくさんあって驚きました。
- 写真が綺麗で見やすく、分かりやすかったです。身近なものがテーマになっていて興味を持って見ることができました。
- 実物の展示がすばらしい。外来種が身近にあって、顔ぶれも変わってきた様子がよく分かる。パンフレット（ふるさと安曇野きのうきょうあした No.23）のまとめもよかったです。（外国の）どこからやってきたのか、世界地図による紹介があってもよかったかも。
- 身近な草花が、外来のものだったことに驚きました。それとともに、日本に前からある草花が置き換わってなくなってしまうことに不安を感じます。植物も動物も、私たち人間の力は到底及ばない。繁殖力はどうすることもできないと思いました。展示の文章がとても分かりやすく力強さを感じる文章でした。
- これまで普通に見ていた植物の数々が外来生物だと知って驚きました。農作物への影響など知ることが出来て勉強になりました。駆除の実態と効果など知りたいと思いました。ありがとうございました。
- オオイヌノフグリとヒメオドリコソウが外来植物であるということに驚いた。ほかにも、自分が知らなかった外来植物の展示も多く、とても勉強になった。
- 非常に興味深いです。足元の“自然”をしっかりと見つめなおしたいと思いました。
- 移住者なので、やみくもに安曇野を輝かしい土地だとみなしていたが、個別に見ると、今も変化を続けていることが分かった。そうして、関心を持っていないと今ある美しさもなくなる可能性があるのだと思った。1年がかりの準備期間が思いやられる。なるべく体験的な展示になるように腐心したことが分かる。
- 外来種というが、植物・生き物への愛が感じられる解説、楽しかったです。ありがとうございました。
- 外来種の問題に取り組んでいるので、安曇野地域の問題や様々な外来種の問題点について分かりやすく理解することができた。多くの人に見てほしいです。史前帰化や外来種にならないミツバチなど外来種すべてが問題ではないことがわかる展示ですね。
- よく見かけるものが多く、外来種の定義の説明もあり、勉強になりました。私は6年前から子どもと安曇野市内の神社（の植生）で見られるエゾゼミの分布の調査を個人（家族）でしています。なので、外来種はよく見かけていて、とても興味を持っていたので、大変勉強になりました。（毎回おもしろい企画をありがとうございます）。
- 身近な外来種を知ることができました。駆除のための活動に参加したいと思います。
- 春先の企画展としてふさわしい内容でした。身近な外来動植物を再認識できるとともに、パンフレットを持って春の安曇野を散策したくなりました。毎回展示内容をパンフレットにも過不足なく記載いただいているので企画展だけの一過性でなく何度も読み返すことができ、有意義です。いつもホームページをチェックして企画展を楽しみにしておりますので、今後も長く続けてほしいです。
- 外来種の多さに驚いた。ひとつひとつにストーリーがあり、その話を聞いてみたい。にくいけど愛

らしさもある。

- ・身近な所にある植物が、外来種であることを知らず共存していることを改めて見つめなおしました。私たちは沢山のことを共存しながら夢を見ています。身近な自然から学ぶ—素敵な企画展をありがとうございました。
- ・最近、高瀬川川原の自然環境保全に興味を持ちはじめたことがきっかけで今回の展示を知りました。滅びゆく在来種を守りながら、なかなか減らすことが困難な外来種と上手に付き合っていくことを考えたいと思います。
- ・外来植物について、今まで疑問だったことがよく分かりました。在来との違いが表示されていたのはよかった。(カタバミ) ガビチョウは鳴き声が聞けるとよかった。イネ科の外来植物—さく葉のみでなく写真もあるとよかった。ミツバチの話はおもしろかったです。
- ・よい企画を立て、展示をして下さる方々に感謝します。もっと市民が見るべきです。
- ・改めて外来種のすごさ(陰陽)を教えていただきました。修験者と薬草の関わりが気になります。
- ・安曇野の自然環境について深く知れたのがよかった。特に動物も含めて展示していたのはよかった。ただ、外来植物でオオキンケイギク、オオハンゴンソウの言及がなかったのは少し残念。(市内に生育している。)
- ・具体的(くわしい)説明がもう少しあっても良いのでは。
- ・常設展の遊び場(羽根つき、めんこ、ビー玉)がよかったです。

3 今後やってほしい展示

- ・身近な植物(田んぼのあぜ道や庭先)や動物の紹介と生態について
- ・安曇野の野生動物
- ・夜の生き物展(夜に活動する動物や開花する花を見てみたい。)
- ・機械などが作られる工程
- ・海の魚(深海魚も)
- ・長野県の水中の生き物、陸の生き物の展示
- ・那須野さん、丸山隆さん、中田信好さんたちの写真を生かした企画
- ・断層について
- ・ひと昔、里山でみられた生き物たちが知りたいです。再生する方法はあるのでしょうか。
- ・わさび展
- ・益虫、害虫、食草、鳥や動物
- ・サル・カラスが増えているようで心配です。(県や市の意見を知りたいです。)ジビエをもっと食べる文化の促進、食べ方の紹介などやってほしいです。
- ・鳥について。鮎物もあったら面白いけど、塩尻(ミュージアム鉱研地球の宝石箱)へ見に行っています。
- ・両生類など水生生物の展示
- ・御柱展
- ・筑摩自動車→松本電鉄(の歴史、町の様子)1500年~1650年安曇野の城主と松本城主のかかわり。当時の産業、とれた農産物→どこで売れたか。
- ・ボタニカルアート展

- ・野鳥について
- ・魚系統の企画が見たいです。
- ・穂高の古墳展をもう一度見たいです。
- ・ギャラリートークを増やしてほしい。
- ・自然（動植物）が好きなので、次は安曇野特有の動植物についての展示があったらいいと思う。
- ・安曇野の山城について教えてほしいです。
- ・絶滅危惧種の紹介などの企画展をぜひ。
- ・道祖神の歴史、堰の歴史
- ・安曇野の野鳥について、天蚕について
- ・安曇野の民話とその科学的根拠。例えば、泉小太郎と、太古、安曇野が湖だったことなど。 安曇野の気象、独特の天候・風。
- ・食べ物の展覧会

X 博物館のこれから

昨年度は、コロナ感染症対策によって、夏季企画展の中止、講座等は定員の半数、友の会諸活動の休止など、大きな制限を受けました。例年実施していた小学校3年生を対象とした「昔の暮らし体験教室」は、1校のみの実施となり、市内の他の小学校は、その映像を見てもらうことになりました。

世の中、対面ではなくリモートでの活動が広がっています。博物館は、実物を見てもらう、触れてもらう、体験してもらう、それが醍醐味です。さらに、聞き取り調査など人を介して情報を得る、講座等で伝えることも博物館の大事な活動です。それが制限されたことは、大きな痛手でした。

このような状況のなかでも、観察会、講座、見学会など、要望があれば積極的に出向きました。博物館で待っているのではなく、外に出て多くのものを伝え、そして多くのものを得てくる。そんな活動に力を入れました。

感染症の早い終息を願うのでありますが、その次にくる世界は・・・・。

やはり、多く人と接し、情報をもらい、発信していく、なによりも多くの人が笑顔で集っていただけるような博物館になっていきたいものです。

安曇野市豊科郷土博物館

〒399-8205 長野県安曇野市豊科 4289 番地 8
TEL 0263-72-5672 FAX 0263-72-7772

公式サイト

<http://www.city.azumino.nagano.jp/site/museum/>

発行 令和3年9月30日